

はじめに

本県の農業改良普及事業は、魅力ある農業・農村の再興に向けて、「先進的農業に取り組む経営体の支援」、「地域農業の振興に向けた総合的な支援」を柱とした「協同農業普及事業の実施に関する方針」の下、国や市町村、関係団体と連携して普及活動に取り組んでまいりました。

東日本大震災から15年余り、創造的な復興の取組は着実に進んでおり、ほ場の大区画化や担い手への農地集積による100haを越える大規模土地利用型経営体や、高度な環境制御技術等を取り入れた先進的施設園芸経営体が次々と誕生し、本県の農業構造は大きく変化しています。

一方、農業・農村においては、農業従事者の減少や高齢化などの恒常的な課題のほか、肥料・飼料・燃料等資材価格の高騰や頻発する自然災害、地球温暖化に伴う夏季の高温による収量・品質の低下など、取り巻く情勢は厳しさを増しております。

このような中、本県の普及活動では、農業経営の安定化や地域農業の核となる経営体の持続的発展を図るため、市町村が取り組む「地域農業経営基盤強化促進計画」の実現に向けた支援をはじめとして、「みどりの食料システム戦略」の推進、「デジタルトランスフォーメーション」やスマート農業技術の導入による生産性の向上、高度環境制御技術を導入した施設園芸や大規模露地園芸に取り組む経営体の栽培技術の定着と効率的な栽培体系の確立、資材価格高騰を背景とした堆肥等の有効活用を推進する耕畜連携、新たな担い手の確保・育成及び女性農業者の活躍に関する取組などを重点的に支援しております。

県内9カ所の農業改良普及センターの普及指導員と農業革新支援専門員は、これらの取組に関する32のプロジェクト課題に精力的に取り組んでおり、本書では、令和7年度に完了した課題を中心に、その成果を取りまとめております。

農業改良普及センターでは、今後とも市町村、農業団体、農業者等と連携し、「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画（令和8年3月見直し）」に掲げるキャッチフレーズ「『共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～』のもと、「豊かな食」、「儲ける農業」の実現を目指して農業現場の課題解決に取り組むとともに、「活力ある農村」を次の世代につなげるため、農業者のみならず食に係る全ての事業者や消費者の連携を推進してまいりますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

令和8年6月

宮城県農政部長 菊池 弘之

目 次

I プロジェクト課題の活動事例 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化

1 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援

- (1) 中山間地域における持続可能な営農体制の構築を目指して
ほ場整備を契機とした営農体制の整備
株式会社大輪……………仙 台 2
- (2) 人も農業も彩り豊かに営む法人を目指して
土地利用型法人の経営戦略の策定と持続的経営の展開
農事組合法人おおぬき彩土里ファーム役員6人……………美 里 4
- (3) 大豆栽培技術の構築による単収の向上
土地利用型経営体の大豆多収穫技術の体系構築による単収の向上
町館営農組合 役員7人、個別経営体1経営体……………栗 原 6
- (4) 担い手の法人化と高収益作物の安定生産を目指して
農地整備を契機とした地域営農構想の実現
上沼桜場地区担い手経営体4法人（法人設立予定の1個別経営体を含む）……………登 米 8
- (5) 未来につながる省力化チャレンジ支えます!!
集落営農法人による農地整備を契機とした省力化技術の導入・定着
農事組合法人葉坂希望の郷理事10人……………大河原 10
- (6) ほ場整備事業を契機とした営農体制の構築
下余田Ⅱ期地区におけるほ場整備事業を契機とした営農体制の構築
高柳生産組合4人、下余田Ⅱ期地区担い手部会13人……………亘 理 11
- (7) 地域農業を担う農業法人の経営発展を目指して
色麻町の地域計画実現に向けた担い手の経営発展
農事組合法人下高城ふぁあむ、清水集落営農組合
（色麻町内土地利用型農業法人10法人）……………大 崎 12

2 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援

- (1) 小ねぎ産地を支える担い手の確保・育成
小ねぎ産地における次世代の人材育成
JAいしのまきスリムねぎ部会 若手部会員11人……………石 巻 14

3 先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援

- (1) 黒川地域における水稲乾田直播栽培の普及拡大を目指して
水稲乾田直播栽培技術の定着による大規模土地利用型経営体の基盤強化
有限会社ITO、株式会社高橋グリーン、農事組合法人アグリ今泉、
農事組合法人若木の里、みどりあーと山崎株式会社 ……………仙 台 16
- (2) 大豆種子の省力化と安定生産を目指して
省力化技術の活用による優良大豆種子の生産性向上
株式会社クリーンライス、有限会社高須賀農産、農事組合法人アスターファーム、
農事組合法人ドリーム真野、農事組合法人たてファーム・和、蛇田集団転作組合、
株式会社ぱるファーム大曲 ……………石 巻 18
- (3) 水稲乾田直播栽培の定着と拡大を目指して
若手農業者の経営発展に向けた水稲乾田直播栽培技術の定着
東部師山生産組合及び株式会社三本木グリーンサービスの若手農業者2人
（水稲乾田直播の導入・取組拡大を志向する担い手経営体）……………大 崎 20
- (4) 生分解性マルチの導入によるさつまいものグリーンな栽培体系の構築支援
環境に配慮したさつまいも栽培体系の構築

各農業改良普及センター 令和7年度普及指導計画の対象者
 (有限会社ライスアーティスト、農事組合法人おおぬき彩土里ファーム、
 農事組合法人エコルフーム) ……………革新 21

- (5) R T K等の最新スマート農業技術の現地実証と導入支援
 作業の省力化・効率化に向けたアグリテックの体系的な活用
 土地利用型農業者5経営体〔有限会社高須賀農産、水稻生産者、
 有限会社かわつらグリーンサービス、農事組合法人中塚ファーム育み、
 農事組合法人葉坂希望の郷〕(波及先：アグリテック導入・活用経営体) ……………革新 22

4 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援

- (1) 仙南たまねぎの収量向上と環境に配慮した栽培方法の普及拡大を目指して
 仙南たまねぎの環境に配慮した栽培方法による生産拡大
 J Aみやぎ仙南たまねぎ部会17人……………大河原 24
- (2) 気候変動に対応したいちご育苗技術と総合的病害虫雑草管理 (IPM) を支援
 気候変動に対応したいちご栽培管理技術の再構築
 若手いちご生産者8人……………亘 理 26
- (3) 次世代へつなぐ、利府の梨。～技術と交流が創る新しい産地の形～
 次代を担う生産者の育成による梨産地活性化
 J A仙台利府梨部会 部会員4人(同部会員61人)……………仙 台 28
- (4) 加美地域におけるさつまいもの新たな産地形成
 加美地域におけるさつまいもの新たな産地形成に向けた生産技術の確立
 新規作付者2人、有限会社ライスアーティスト
 (J A加美よつばさつまいも生産者8人)……………大 崎 30
- (5) 歴史ある日本なし産地の維持・発展を目指して
 「北浦梨」産地の活性化に向けた、I C T活用による栽培の「見える化」
 J A新みやぎ北浦梨部会若手生産者1人、役員等3人(部会員35人)、
 株式会社ファームおてんとさん栽培担当者2人……………美 里 32
- (6) たまねぎの直播栽培技術習得を目指して
 加工用たまねぎの直播栽培技術の確立による収量確保
 株式会社吉尾ファーム、株式会社伸和ファーム……………栗 原 34
- (7) 更なる加工用ばれいしょの生産拡大・振興に向けて
 加工用ばれいしょ生産中・長期計画策定と生産体制構築
 登米ぼてと組合9経営体……………登 米 36
- (8) 石巻地域の大規模露地園芸品目の生産安定
 水田におけるばれいしょ及びさつまいもの安定生産
 株式会社めぐいと、農事組合法人おおしお北部、
 農事組合法人エコルフーム ……………石 巻 38
- (9) 新たなぶどう産地の形成を目指して
 生食用ぶどうのブランド化による生産拡大
 南三陸大粒ぶどう協議会会員9人……………気仙沼 40
- (10) 園芸品目の規模拡大、生産性向上に向けて
 経営継承後の農業法人におけるねぎ、うめの規模拡大と生産性向上
 株式会社館島田ファームD e r o (役員3人、社員2人)……………大河原 42
- (11) 雇用環境整備と対話が生む「経営参画意識の向上」
 土地利用型法人における組織運営の安定化に向けた担い手育成
 農事組合法人林ライス……………亘 理 43
- (12) 地域版防除マニュアル作成に向けタバココナジラミ発生傾向を把握
 トマト黄化葉巻病の媒介昆虫タバココナジラミに対する防除体系の構築
 管内トマト生産者5人(J Aいしのまきで共販している生産者)……………石 巻 44
- (13) 気仙沼・南三陸地域のクロマツ栽培の拡大に向けて

気仙沼・南三陸地域のクロマツ栽培者の育成と作付面積の拡大

株式会社南三陸Pine Pro、みやぎクロマツ研究会気仙沼市・南三陸町会員3人、

栽培希望者2人……………気仙沼 45

II プロジェクト課題の活動事例 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築

1 地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援

(1) 中山間地の農産物直売所の活性化支援

中山間地農業の核となる農産物直売所の組織運営能力向上

農事組合法人やくらい土産センターさんちゃん会理事6人、

プラビラボ8人(うち、さんちゃん会会員3人)……………大崎 48

2 関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援

(1) 中山間地域の農地集積と担い手の育成

地域農業の維持・発展に向けた地域計画の作成と実践

村田町菅生地区 土地利用型農業次世代担い手3経営体(組織1個別2)……………大河原 50

(2) 金成有壁地区の活性化を目指して

金成有壁地区の活性化ビジョンの実現

天水の郷「有壁創生会」36人……………栗原 52

3 環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援

(1) 地元堆肥資源の活用で小麦と小麦産地を元気に!

堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の向上

涌谷町麦類生産者14経営体……………美里 54

(2) 環境負荷低減型水稲乾田直播栽培技術の確立を目指して

環境負荷低減型水稲乾田直播栽培技術の確立

環境負荷低減型水稲乾田直播栽培に取り組む生産法人2法人

(有限会社かわつらグリーンサービス、農事組合法人S K美野里農産)……………登米 56

III 各農業改良普及センターの重点活動と一般活動の紹介

1	大河原農業改良普及センター	58
2	亘理農業改良普及センター	60
3	仙台農業改良普及センター	62
4	大崎農業改良普及センター	64
5	美里農業改良普及センター	66
6	栗原農業改良普及センター	68
7	登米農業改良普及センター	70
8	石巻農業改良普及センター	72
9	気仙沼農業改良普及センター	74

IV 令和7年度農業普及関係各種表彰事業受賞者概要 78

V 令和7年度農業改良普及事業関係主要行事実施状況 81

VI 令和7年度各農業改良普及センタープロジェクト課題一覧 82